

特定外来生物の防除にご協力をお願いします

●お問い合わせ 商工観光・自然環境課 ☎76-3150

この植物を植えたい、拡げたいしないでください

特定外来生物 オオハンゴンソウ



花 開花期は夏から秋（7～10月）
花びらは黄色、中心部は黄緑色

葉 葉は深く5～7枚の裂片に分かれ、
縁はギザギザに切り込みがある
葉の裏にのみ短い毛がある

根 太い根茎から根が生えている。
根茎2グラムから再生するので、
丁寧な抜き取りが必要

特定外来生物 オオキンケイギク



花 開花期は初夏（5～7月）
花びらと中心部は黄色

葉 根元に生える葉が多く、生育初期は
へら状で、生長が進むにつれ3～5
枚に分かれる

根 根がかたまりになって密集している。
根から再生するので丁寧な抜き取り
が必要

どうして駆除しなければならないの？

特定外来生物は、生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止するため、外来生物法によって指定されます。特定外来生物に指定されると、その飼養、栽培、保管、運搬、輸入といった取扱いが規制され、防除等に取り組まなければならないようになります。

オオハンゴンソウとオオキンケイギクは、繁殖力が大変強く、九重町にもともと生育していた植物に大きな影響を与えます。植物への影響は昆虫への影響にも繋がり、農業をはじめとする私たちの暮らしにも影響を与えます。

特定外来生物を処理する際の注意点

抜き取ってすぐの根には再生力があり、花芽はそのまま切り取っても種子をつくる可能性があるため、そのまま移動させてはいけません。抜きとったその場で天日にさらして乾燥させるなど、枯死させるための処理を行い、飛散防止のためビニール袋に入れる等してゴミ処理を行ってください（処理するゴミの量が大量になる場合は、商工観光・自然環境課までご連絡ください）。

出典：環境省九州地方環境事務所制作チラシ、環境省ホームページ「特定外来生物同定マニュアル・植物編」